

巻 頭 言

新型コロナウイルス感染が流行し始めて2年余りが経過します。昨年夏以降、当センターによる教育相談等の事業も再開し、来所による相談も盛んになっていた折に、再び「第6波」が襲いかかりました。ワクチン接種の広がりやウイルス株の変異により、重症化率は下がっているものの、この原稿を認めている時点では、感染拡大の一途をたどっている状況です。そこで昨年末より、対面による教育相談を再度中止させていただいている状態となっており、多くの利用者にご迷惑をおかけしております。この場を借りてお詫び申し上げます。

一方で、今年度は喜ばしい出来事もございました。国立特別支援教育総合研究所のランチオフィスが本学内に設置され、本学と共同の「インクルージョン・ダイバーシティ推進室」もその隣に整備されました。西日本における特別支援教育の推進に向けて、当センターとしても微力ながら貢献していくことができると存じます。

さて、特別支援教育実践センター研究紀要は、今回で発刊から20号目となりました。これもひとえに、皆様のお力添えのおかげと、深く感謝しております。今後、国立特別支援教育総合研究所や広島大学ー長春大学特別支援教育研究センター等との連携により、当紀要をさらに発展させるための在り方について協議し、当紀要に掲載されている論文がより多くの方の目に触れるよう、努力をしてみたいと存じます。

本号では、原著4編、実践研究5編、資料1編の計10編が採択されました。ぜひご一読いただければ幸いです。

最後になりましたが、今後も、本センターへの更なるご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年3月吉日

広島大学大学院人間社会科学研究科附属
特別支援教育実践センター長

川 合 紀 宗